



大阪経済記者クラブ会員各位

# 提言「グレーターミナミ・シティにおける持続的なビジネス等の活性化に向けて」 ~地域資源を活かし、『外国人起業家の拠点』をめざして~

【お問合せ】大阪商工会議所 地域振興部 藤田・中野 TEL 0 6 - 6 9 4 4 - 6 3 2 3

大阪商工会議所 都市活性化委員会(委員長:錢高一善・㈱錢高組取締役会長)は、アフターコロナを見据え、大阪市南部のグレーターミナミ・シティ(難波、新今宮、阿倍野・天王寺、上本町エリア)を「外国人起業家の拠点」と位置づけ、起業支援や規制緩和などを通じて、観光や留学などの短期の「交流人口」を、起業や就労へとつなげることで、地域の持続的な産業振興や、地域活性化が必要であるとする提言をまとめた。

今後は、外国人就労支援施設「YOLO BASE」と連携した外国人の起業支援のほか、関係者による「グレーターミナミ・シティイノベーター育成協議会」(仮称)設立を通じた具体的な取り組み等を働きかける。

- <u>グレーターミナミ・シティ(難波、新今宮、阿倍野・天王寺、上本町エリア)は</u>、2013 年に観光 産業のリーダーとなる人材を育成するための高度教育機関として、「大阪府立大学観光産業 戦略研究所」が設置されたのに続き、2019 年9月には、外国人就労支援施設「YOLO BAS E」が誕生するなど、新たな外国人コミュニティが広がり始めている。
- <u>また、本年9月に浪速区が「新今宮駅北側まちづくりビジョン」を策定</u>したほか、本年7月に、「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」として指定された大阪コンソーシアムは、<u>外国人コミュニティのあるグレーターミナミ・シティを「外国人起業家の拠点」とする構想を</u>検討するなど、新たなまちづくりの動きが見られる。
- <u>大阪の持続的な地域活性化のためには</u>、留学や観光での交流等をきっかけにして、大阪、グレーターミナミ・シティに魅力を感じ、当地を何度も訪れる<u>外国人にとって、就労あるいは</u>起業しやすい環境を整備することを通じて、数か月から数年住まう「暫住人口」や、さらに長期に住まう「定住人口」を増加させ、労働力の基盤拡大や主としてスモールビジネスによる起業創出、また魅力的なまちづくりにつなげる取り組みが必要である。

#### 具体的取り組みとしては、

- (1) <u>外国人就労支援施設「YOLO BASE」を「外国人起業家の拠点」の核に位置づけた外</u> 国人起業家の育成推進等
- (2) 観光産業における高度人材育成を担う「大阪府立大学観光産業戦略研究所」のさらなる機能活用等
- (3) 留学生を受け入れている専門学校等と外国人のキャリアデザインを支援している企業等との連携による外国人の起業支援等

- (4) 「グレーターミナミ・シティ イノベーター育成協議会」(仮称)の設置による効果的な外国 人起業家育成、起業手続き支援、インターンシップ受け入れ等による企業の国際化支援 等
- (5) <u>外国人にとって魅力的な環境の創出、必要な機能の集積</u>(在留資格の規制緩和等)等を求めている。
- なお、本提言は、昨年4月に都市活性化委員会が発表した提言「グレーターミナミの活性化に向けて」を受けて、12月にグレーターミナミ・シティに関係の深い企業・団体関係者などで設置した「グレーターミナミ・シティインバウンドビジネス等活性化研究会」(座長:長谷川惠一・都市活性化副委員長)において、5回にわたって、より具体的な地域活性化方策を検討し、このほどとりまとめたもの。

#### くグレーターミナミとは>

- ・難波、新今宮、阿倍野・天王寺・上本町 エリアを基点に、大阪府南部に広がる、 泉州9市4町と南河内6市2町1村を 含む地域。
- ※難波、新今宮、阿倍野・天王寺・上本町 エリアを<u>「グレーターミナミ・シティ」</u> と呼ぶ。



グレーターミナミ・シティ



#### <添付資料>

- 提言「グレーターミナミ・シティにおける持続的なビジネス等の活性化に向けて」( 概要版)
- 〇 同上(本文)
- 大阪商工会議所都市活性化委員会「グレーターミナミ・シティ インバウンドビジネス 等活性化研究会」概要

以上

大阪商工会議所

# 地域資源を活かし 『外国人起業家の拠点』をめざして

#### 背景•趣旨

- 大阪商工会議所が2019年4月に発表した提言「グレーター ミナミの活性化に向けて」の中で、グレーターミナミ・シティ を「日本のインバウンドのハブとして、アジアを中心とする交流 人口の増加を定住人口の増加につなげ、持続的な地域振興につな げる必要がある」、とした。
- そのためには、大阪に愛着を持つ外国人留学生や観光での交流 などをきっかけに生まれたリピーターが日本のビジネス界で活躍 する環境を整備することは、わが国と彼らの母国との実質的なビ ジネス交流を進め、大阪の地域産業活性化の上で、極めて重要で ある。
- 域内には、「大阪府立大学 観光産業戦略研究所」、外国人就労支援施設「YOLO BASE」、また外国人留学生を受け入れる専門学校等があり、外国人を受け入れるホスピタリティのある地域として、新たな外国人コミュニティが広がり始めている。
- 本年9月には、浪速区によって「**新今宮駅北側まちづくりビジョン」が策定**。関係者・事業者による取組推進や、投資しやすい環境を創出しようという動きが出てきている。
- また、2020年7月、京阪神のコンソーシアムが、「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」 に指定。グレーターミナミ・シティを"外国人起業家の拠点" とする構想が検討されている。
- グレーターミナミ・シティの発展に向けて新たな課題と蓄積を 整理したうえで、**外国人によるビジネスの促進等によって、同地域、** ならびに大阪の持続的な地域活性化につなげていく。

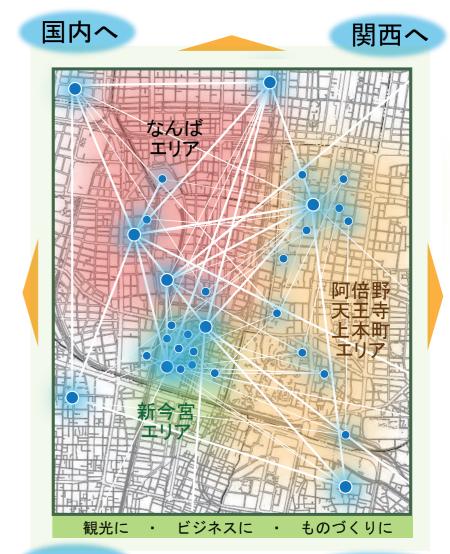
## 取組の方向性

- 交流人口の増加を、暫住人口、定住人口の増加につなげるため、 インフラ整備も含め、同地域の持続的な産業振興、地域活性化 に向けた取り組みを進める。
- グレーターミナミ・シティがスタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市の一翼を担い、「外国人起業家の拠点」として国内外へ力強くアピールする。そのために、「YOLO BAS E」、「大阪府立大学観光産業戦略研究所」、また専門学校、外国人のキャリアデザインを支援する企業等との連携を図る。
- 経済戦略特区指定も視野に入れながら、必要に応じて規制緩和 を進め、取り組みが機動的かつ迅速に進むよう、環境整備を進 める。

## 具体的方策

- 1. YOLO BASEを『外国人起業家の拠点』の核として位置づけ、 関連企業、専門学校等との連携により外国人起業家の育成を図る。
- 2. 「大阪府立大学観光産業戦略研究所」などの機能活用を進める。
- 3. 専門学校等と外国人のキャリアデザインを支援している企業等との 連携により、外国人の起業支援を進める。
- 4. 様々な施設、機関、団体、企業、行政の連携により「グレーターミナミ・ シティ イノベーター育成協議会」(仮称) を設立する。
- 5. 外国人にとって魅力的な環境を創出し、必要な機能の集積を図る。

## グレーターミナミ・シティ

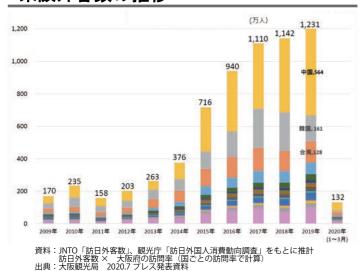


世界へ

グレーターミナミへ

## 資料データ

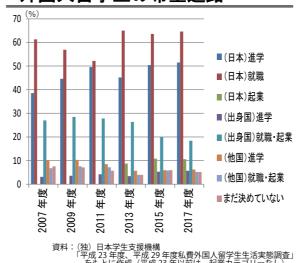
## 来阪外客数の推移



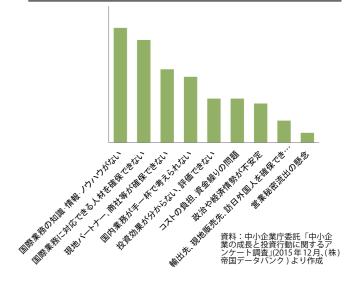
## 外国人留学生在籍状況



## 外国人留学生の希望進路



## 海外展開投資未実施企業が海外展開を行わない理由



YOLO BASE を『外国人起業家の拠点』の核として位置 づけ、関連企業、専門学校等との連携により外国人起 業家の育成を図る

#### ① 起業やマッチング支援のプログラム展開

・大阪商工会議所が主催する「グローバル・イノベーション・フォー ラム(GIF)」との連携も含め、起 業を目指す外国人によるピッチの 開催や商品・サービスの展示、外 国人と国内企業とのビジネスマッ チングの実施など、YOLO BASE を 会場として活用し、起業家育成、 外国人就労支援に向けた各種プロ グラムを展開する。



#### ② シェアオフィス機能の充実

·YOLO BASE のシェアオフィス機能などのハード面の充実を図る。

2. 「大阪府立大学観光産業戦略研究所」などの機能活用を進める

#### ①「I-site なんば」の交流機能活用

・2013年にグレーターミナミ・シティに設置された大阪府立大学 「I-siteなんば」は、都心部における学術・文化の交流拠 点として活用されており、大阪公立大学への統合後も引き続き 存続するものと期待されている。

#### ②「大阪府立大学観光産業戦略研究所」の機能活用

· さらに、「 I - s i t e なんば | に設置されている「大阪府立大 学観光産業戦略研究所」は、観光に関わる国内外の学生、事業 者等が交流し、観光産業のリーダーとなる人材を育成するため の貴重な高度教育機関である。外国人による起業の拠点を目指 すうえで、この地域に不可欠な機能を有しており、さらなる機 能活用が期待される。

## 3. 専門学校等と外国人のキャリアデザインを支援してい る企業等との連携により、外国人の起業支援を進める

#### ① 関連機関の連携強化

・外国人留学生を受け入れている専門学校や専門職大学(将来向 けて設置検討の動き)、さらには外国人のキャリアデザイン支援 を行う企業等が連携し、起業に必要な様々なバックオフィス支 援も行うことが必要である。

#### ②司法書士や行政書士等の支援強化

- ・起業しようとする外国人の各種行政手続きがスムーズに進むよ う、司法書士や行政書士などによる支援が必要である。
- 4. 域内において取り組みを包括的かつ効果的に進めるた め、様々な施設、機関、団体、企業、行政の連携によ り「グレーターミナミ・シティ イノベーター育成協議会」(仮称) を設立する

必要に応じて行政による支援を受けながら、具体的には、次の 機能を持つことが求められる。

#### ① 外国人起業家支援プログラムの実施

・時代の要請に応じた外国人起業家の育成方針やプログラム内容 等について協議し、相互に分担連携しながら各種プログラムを 実施する。

#### ②「起業ワンストップ・サービスセンター」(仮称)の設置

・司法書士や行政書士などによる支援を得て、起業しようとする 外国人の各種行政手続きが 1 か所で完結できるような「起業ワ ンストップサービスセンター」(仮称)を設置する。

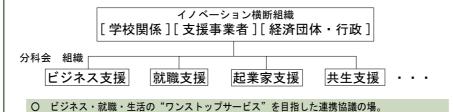
#### ③ 外国人の活用による日本企業の国際化支援プログラムの実施

・留学生のインターンシップ受け入れ等、外国人を活用した日本 企業のグローバル化推進に向けたプログラムを実施する。

#### ④「グレーターミナミ・シティ・ファンド」(仮称)の設立

・起業を支援するため、金融機関等との連携による「グレーターミ ナミ・シティ・ファンド」(仮称)の設立等を目指す。

### 「グレーターミナミ・シティ イノベーター育成協議会」(仮称) 組織イメージ



- 異業種交流や交流会などの交流をベースにした促進策(出会いの場づくり)。
- 国際交流会そのほか数々の交流会やイベントを共同開催など集積。
- 5. 外国人にとって魅力的な環境を創出し必要な機能の

○ その中から出てくる課題解決の方法や仕組みづくり、人材育成方法などの評価などを行う。

#### ① 国際共生支援センター(仮称)の設置

集積を図る

・公民連携により、外国人が気軽に相談できる機能 (留学生就職支援、雇用労働相談、外国人起業促進支援窓口等)、 また日本人や日本の企業が、外国人と共生するための課題解決 相談に応える機能として、外国人コミュニティの域内に「国際 共生支援センター (仮称)」の設置が必要である。

#### ② 外国人のための生活インフラの整備

・グレーターミナミ・シティ内に、外国人が安心、信頼して利用 できる医療機関や教育機関など、さらなる生活環境の整備が必 要である。

#### ③ 外国人留学生の在留資格取得の緩和等

- ・グレーターミナミ・シティを経済戦略特区に指定することも視野に入れ、 志の高い専門士の留学生については、一定の条件を満たすことで学士と 同等の就業が可能となるよう、在留資格の取得緩和に向けた検討が必要 である。
- ・また将来的には、特区において、外国人の在留資格の緩和や機動的運用 についても検討が必要である。

#### ④ 学校設置の規制緩和

・外国人留学生を受け入れる教育機関や外国人就職のための施設 をグレーターミナミ・シティにさらに集積させ、そのネットワ 一ク化を図ることが有効である。このため、同地域に留学生の 受け入れ促進を図るため、学校設置にかかる規制の緩和も検討 する必要がある。

#### ⑤遊休スペースのビジネストライアル活用

·YOLO BASE の他、域内の遊休スペースを、外国人起業家による様々 なビジネスのトライアルの場として活用することも考えられる。





#### 6. その他

#### ① バスターミナルの設置

グレーターミナミ・シティが日本のインバウンドハブとして、 さらなる人、モノの好循環を創出する拠点機能を有することが 期待される。同地域内に、関西国際空港からワンストップのバ スターミナルを設置することによって、大阪と西日本を中心と する各地間の機動的な発着機能を持つことも一案である。

#### ② 潤いある都市緑化と魅力ある景観形成

・住みやすく働きやすい環境を整えるため、なんばパークス、星 野リゾート OMO7大阪新今宮、天王寺動物園、ハルカス等の 主要施設をつなぎ、エリアー帯のグリーンインフラ(緑化)を 強化するとともに、色彩コントロールを進めつつ魅力ある潤い に充ちた景観形成を図る。



要野ツゾード 言

### グレーターミナミ・シティ 都市成長のイメージ

グローカル共生都市

国際ビジネス拠点

外国人起業拠点

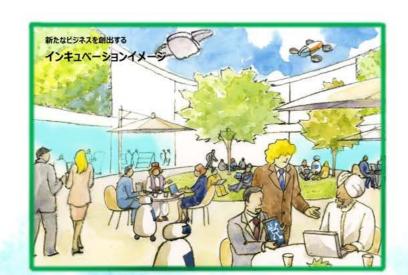
外国人起業家育成

外国人留学生集積

国際交流







# グレーターミナミ・シティの将来イメージ



















2020年11月25日

# 「グレーターミナミ・シティにおける 持続的なビジネス等の活性化に向けた提言」について

~ 地域資源を活かし、『外国人起業家の拠点』をめざして~

大阪商工会議所 都市活性化委員会

#### く背景・趣旨>

- ○大阪商工会議所 都市活性化委員会(委員長:錢高一善・㈱錢高組取締役会長)は、2019年4月に発表した提言「グレーターミナミの活性化に向けて」の中で、難波、新今宮、阿倍野・天王寺、上本町エリアを「グレーターミナミ・シティ」と称し、「日本のインバウンドのハブとして、アジアを中心とする交流人口の増加を定住人口の増加につなげ、持続的な地域振興につなげる必要がある」、とした。
- ○そこで、より具体的な方策の検討を進めるため、同委員会の下に、グレーターミナミ・シティの活性化に関係の深い企業・団体関係者等による「グレーターミナミシティ インバウンドビジネス等活性化研究会」(座長:長谷川惠一・都市活性化副委員長)を2019年12月に設置し、計5回にわたる議論を行った。
- ○グレーターミナミ・シティは、インバウンドの伸長とそれを見込んだ投資により、近年活況を呈してきた。しかしながら、本年2月以降の世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、インバウンドが蒸発。国内外の情勢変化によって、街の賑わいが大きく左右される現実を目の当たりにしている。
- ○こうした中、前述の提言でも触れられている通り、この地域の持続的な発展を図るには、長期的には増加傾向にある留学生を含む訪日外国人の力を、地域の基幹産業の強化につなげる必要があることが、改めて認識されているところである。すなわち、観光での交流等をきっかけにして、大阪、グレーターミナミ・シティに魅力を感じ、当地を何度も訪れる外国人旅行者を、暫住人口(※)や定住人口の増加につなげ、労働力の基盤拡大や主としてスモールビジネスによる起業創出、また魅力的なまちづくりにつなげる取り組みが必要である。

※数カ月~数年程度を目途に、主として若年単身者が住まうことを、ここでは「暫住」とする。

○かねてグレーターミナミ・シティには、外国人を教育する専門学校や日本語学校等が存在している。インバウンドを通じた大阪の知名度向上効果もあり、日本語はもとより、日本の生活

やビジネス習慣などを学ぶ外国人留学生が増加傾向にある。また、日本での就職、起業を希望する傾向も高まっている。経済がグローバル化する中、大阪に愛着を持つ外国人留学生が日本のビジネス界で活躍する環境を整備することは、わが国と彼らの母国との実質的なビジネス交流を進め、大阪の地域産業活性化の上で、極めて重要である。

- ○また、2013 年には、観光産業のリーダーとなる人材を育成するための高度教育機関として、「大阪府立大学観光産業戦略研究所」がグレーターミナミ・シティに設置されている。さらに、2019年9月には、外国人就労支援施設「YOLO BASE」が誕生し、外国人を受け入れるホスピタリティーのある地域として、新たな外国人コミュニティが広がり始めている。
- ○本年9月には、<u>浪速区によって「新今宮駅北側まちづくりビジョン」が策定。</u>新今宮駅北側エリアのまちづくりについて、その方向性や将来像について共有し、関係者・事業者による取組推進や、周囲の開発に投資しやすい環境を創出しようという動きが出てきている。
- ○一方、本年7月、京阪神のコンソーシアムが、世界に伍する日本型の起業環境整備を国が 集中支援する「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」に指定された。大阪コン ソーシアムにおいては、外国人コミュニティのある<u>グレーターミナミ・シティを"外国人起業家</u> の拠点"とする構想を進めることも検討されているところである。
- ○国境を超えた国際交流が以前の状態に戻るまでには、さらに時間を要する状況ではあるが、 インバウンド(主としてアジア)にとって、グレーターミナミ・シティに対する憧れと期待は失われ ていないはずである。すでに、アジア市場等を見据えたオンラインネットワークが拡大を始 め、リアル交流の機会を待ち望んでいると言われている。こうした状況にある時こそ、インバウ ンドをはじめとした次のグローバルビジネスの復活に向けて着実な準備と環境整備を進める ことが必要である。
- ○ついては、中長期的な視点に立ち、グレーターミナミ・シティの発展に向けて新たな課題と蓄積を整理したうえで、<u>外国人によるビジネスの促進等によって、同地域、ならびに大阪の持</u>続的な地域活性化につなげるべく、以下の通り提言する。

## 2. 具体的取り組み

- (1)YOLO BASEを『外国人起業家の拠点』の核として位置づけ、関連企業、専門学校等との連携により外国人起業家の育成を図る
  - ①大阪商工会議所が主催する「グローバル・イノベーション・フォーラム(GIF)」との連携も含め、起業を目指す外国人によるピッチの開催や商品・サービスの展示、外国人と国内企業とのビジネスマッチングの実施など、YOLO BASEを会場として活用し、起業家育成、外国人就労支援に向けた各種プログラムを展開する。

②YOLO BASEのシェアオフィス機能などのハード面の充実を図る。

#### (2)「大阪府立大学観光産業戦略研究所」のさらなる機能活用を進める

2013年にグレーターミナミ・シティに設置された大阪府立大学「I-siteなんば」は、都心部における学術・文化の交流拠点として活用されており、大阪公立大学への統合後も引き続き存続することが期待されている。

さらに、「I-siteなんば」に設置されている「大阪府立大学観光産業戦略研究所」は、観光に関わる国内外の学生、事業者等が交流し、観光産業のリーダーとなる人材を育成するための貴重な高度教育機関である。外国人による起業の拠点を目指すうえで、この地域に不可欠な機能を有しており、さらなる活用が期待される。

- (3)専門学校等と外国人のキャリアデザインを支援している企業等との連携により、外国人 の起業支援を進める
  - ①外国人留学生を受け入れている専門学校や専門職大学(将来向けて設置検討の動き)、 さらには外国人のキャリアデザイン支援を行う企業等が連携し、起業に必要な様々な バックオフィス支援を行うことが必要である。
  - ②起業しようとする外国人の各種行政手続きがスムーズに進むよう、司法書士や行政書士などによる支援が必要である。
- (4)域内の取り組みを包括的かつ効果的に進めるため、様々な施設、機関、団体、企業、行政等の連携により「グレーターミナミ・シティイノベーター育成協議会」(仮称)を設立する。 必要に応じて行政による支援を受けながら、具体的には、以下の機能を持つことが求められる。
  - ①時代の要請に応じた**外国人起業家の育成方針やプログラム内容等について協議し、相 互に分担・連携しながら起業家支援プログラムを実施する**。
  - ②司法書士や行政書士などによる支援を得て、起業しようとする外国人の各種行政手続きが1か所で完結できるような「起業ワンストップサービスセンター」(仮称)を設置する。
  - ③留学生のインターンシップ受け入れ等、外国人を活用した日本企業のグローバル化推進に向けたプログラムを実施する。
  - ④外国人による起業を支援するため、金融機関等との連携による「グレーターミナミ・シティ・ファンド」(仮称)の設立等を目指す。

#### (5)外国人にとって魅力的な環境を創出し、必要な機能の集積を図る

- ①異国である日本で生活する外国人にとって様々なストレス要因が存在する。これらを軽減し、外国人が生活しやすい環境を整えることは、外国人の就業、起業の促進を目指す地域にとって不可欠である。また、日本企業においても、文化の違いを理解し、外国人とともに働く環境づくりが求められている。
  - ついては、公民連携により、外国人が気軽に相談できる機能(留学生就職支援、雇用労働相談、外国人起業促進支援窓口等)、また日本人や日本の企業が、外国人と共生するための課題解決相談に応える機能として、外国人コミュニティのある域内に「国際共生支援センター(仮称)」の設置が必要である。
- ②グレーターミナミ・シティ内に、外国人が安心、信頼して利用できる医療機関や教育機関など、さらなる生活環境の整備が必要である。
- ③グレーターミナミ・シティを国家戦略特区に指定することも視野に入れ、志の高い専門士の留学生については、一定の条件を満たすことで学士と同等の就業が可能となるよう、 在留資格の取得緩和に向けた検討が必要である。また将来的には、特区において、在 留資格の緩和や機動的運用についても検討が必要である。
- ④外国人留学生を受け入れる教育機関や外国人就職のための施設をグレーターミナミ・シ ティにさらに集積させ、そのネットワーク化を図ることが有効である。このため、同地域に 留学生の受け入れ促進を図るため、学校の設置にかかる規制緩和を検討する必要があ る。
- ⑤YOLO BASEの他、域内の遊休スペースを、外国人起業家による様々なビジネスのトライアルの場として活用することも考えられる。

#### (6) その他

- ①グレーターミナミ・シティが日本のインバウンドハブとして、さらなる人、モノの好循環を創出する拠点機能を有することが期待される。同地域内に、**関西国際空港からワンストップのバスターミナルを設置**することによって、大阪と西日本を中心とする各地間の機動的な発着機能を持つことも一案である。
- ②住みやすく働きやすい環境を整えるため、なんばパークス、星野リゾート OMO 7大阪新今宮、天王寺動物園、ハルカス等の主要施設をつなぎ、エリア一帯のグリーンインフラ (緑化)を強化するとともに、色彩コントロールを進めつつ魅力ある潤いに充ちた景観形成を図る。

以上

## 大阪商工会議所 都市活性化委員会 グレーターミナミ・シティ インバウンドビジネス等活性化研究会 概要

#### 〇検討状況

#### <第1回研究会 2019年12月19日>

- 1. 趣旨説明
- 2. 話題提供
- (1)「外国人人材のインターンシップ活用の現状とねらい」森興産株式会社
- (2)「外国人財との共生について〜外国人起業家の拠点形成〜」大阪府商工労働部 中 小企業支援室
- 3. 意見交換

#### <第2回研究会 2020年1月29日>

- 1. 話題提供
  - (1)「海外から留学生を呼ぶ仕組みづくりと金融機関との連携事例」学校法人エール 学園
  - (2)「大阪観光局の取り組み等について」公益財団法人大阪観光局
- 2. 今後の進め方について(意見交換)

#### <第3回研究会 2020年2月17日>

1. 「グレーターミナミ・シティにおけるインバウンドビジネス等の活性化に向けた提言」について(意見交換)

#### 〈第4回研究会 2020年8月5日〉

1. コロナ禍をふまえた状況について意見交換

#### <第5回研究会 2020年10月28日>

1. 「グレーターミナミ・シティにおけるインバウンドビジネス等の活性化に向けた提言」について(意見交換)

以上